

さとにきたたら ええやん

監督・撮影:重江良樹 音楽:SHINGO★西成 プロデューサー・構成:大澤一生(脚本8人)「アリーチ・カーロの道場」石内都、藤本よしのり 編集:辻井潤(脚本8人)「イララナグリスに涙あふれる」
吉野慎成(脚本8人)「夢の街」中野実(脚本8人) 制作協力:神吉良輔(脚本8人)の村、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川謙 機材協力:ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力:小谷忠典
助成:赤文化庁文化芸術振興費補助金 企画:ガーラフィルム 宣伝・配給協力:ウッキー・プロダクション 製作・配給:ノンデライコ 2015 | 日本 | 100分 | カラー | 16:9 | 5.1ch | DCP

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場 こどもの里
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー!

上映後、**重江監督**の
お話しあります!!



2016 人権と文化のつどい (岡山市人権啓発活動補助事業)

「さとにきたたらええやん」上映会 & 重江監督講演会

2016年 **11**月**26**日(土) 13:30~岡山県総合福祉会館・大ホール

上映会協力券 800円 (当日 1,000円) 高校生以下無料

主催:地域人権運動岡山市連絡会(人権岡山) TEL:086-253-2611/後援:岡山市・岡山市教育委員会

いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの“さと”



大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子…そして親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながらともに立ち向かう姿を追いました。



わたしはあなたの味方やで! 現在、求められている“居場所”の原風景



「こどもの里」の取り組みを通して、画面いっぱいにあふれ出る子どもたちや、釜ヶ崎という街の魅力を捉えたのは、大阪在住の重江良樹監督。「こどもの里」に関心を抱き、関わり、取材を始めてから足かけ7年、いま、初監督作品として本作を完成させました。音楽は地元・釜ヶ崎が生んだヒップホップアーティスト、SHINGO★西成。ストレートで飾らないメッセージの中に、街で生きる人々への熱い思いが詰まったSHINGO★西成の楽曲が、生きることそのものを力強く肯定し、映画全体をあたたく包み込みます。めまぐるしく移り変わる現代社会のなかで、子どもたちを巡る環境も急激に変化している今、あらためて注目されている「こどもの里」の“取り組み”が、これから歩む私たちに問いかけるものとは――?

「こどもの里」とは?

1977年設立の「子どもの広場」を前身とし1980年に現在の場所で「こどもの里」を開設。以後、子どもたちの遊び場であると共に、各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機能、長期的な養育をおこなう里親としての機能を持つ。

子どもたちの 遊びと学び 生活の場です

誰でも利用できます。
子どもたちの遊びの場です。
お母さん お父さんの休息の場です。
学習の場です。
生活相談 何でも受け付けます。
教育相談 何でもききます。
いつでも宿泊できます。
緊急に子どもが一人ぼっちになったら…
親の暴力にあったら…
家がいやになったら…
親子で泊まる場所がなかったら…
土・日・祝もあいてます
利用料はいりません



地域人権運動岡山市連絡会 FAX:086-253-6722 ※電話でも受付可能です

【FAX 申込み用紙】上映協力券 800 円でご入場いただけます。(当日は受付でお名前をお伝えください)

氏名	ご連絡先	備考